

新潟市ごみ減量
推進キャラクター
「サイチョウ」

新潟市の資源とごみの情報紙

サイチョウ PRESS

vol. 62
令和3年2月21日

3Rが進むまち
リデュース! リユース! リサイクル!

【発行者】新潟市環境部循環社会推進課
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1
TEL: 025-226-1391
FAX: 025-222-7032

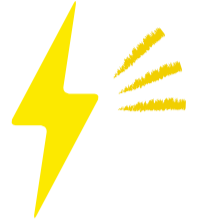
サイチョウプレス



TOPIC

脱炭素社会に向けて

ごみで発電しています



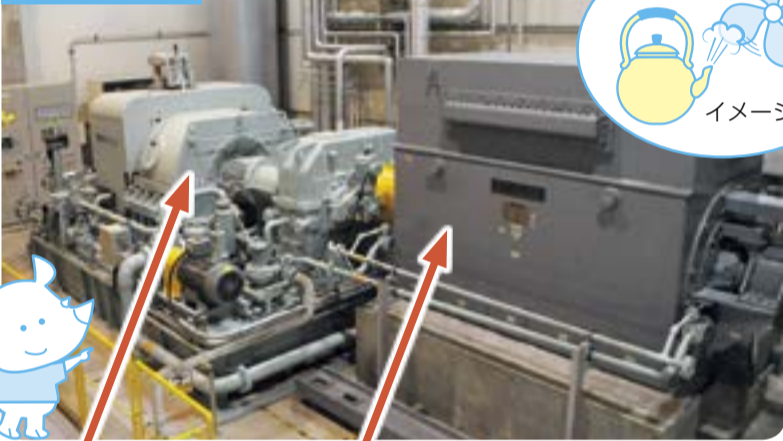
ごみを燃やした熱が、発電に利用されていることをご存知ですか？
新田清掃センター（西区）の、発電の取り組みについて紹介します。

発電のしくみ

ごみを燃やしたときに出る熱で水を蒸気にし、その蒸気でタービンを回して電気を作ります。

作った電気の使い道は？

実際の発電設備



タービンの回転が**発電機**に伝わることで電気ができます。
この設備を動かすことで、一般家庭に換算して最大約22,600世帯分の電気*を作ることができます。化石燃料をほとんど使わずに発電できる、クリーンなエネルギーです。

*一世帯あたりの電気の使用量を2,973.6kWh/年として換算

新潟スワンエナジー…？



アクアパークにいがた

ごみ処理施設内や、となりのアクアパークにいがた（温浴施設）で使われます。照明や設備など、施設内で使う電気を全て発電でまかっています。また、アクアパークにいがたには蒸気の一部も送られ、温水を作るための熱源として利用されています。

その上で余った電気は、電力会社（新潟スワンエナジー）を通じて、市内の公共施設や民間事業者に送られています。

地産地消の新電力「新潟スワンエナジー」とは



JFEエンジニアリング、新潟市、第四北越フィナンシャルグループが連携して設立した地域新電力会社で、地域の脱炭素化と地域経済の活性化の好循環を生み出すことを目的としています。

令和元年11月1日より電力供給を開始し、令和3年2月1日現在、市内で120の公共施設と、8の民間施設へ電力を供給しています。

新潟スワンエナジーを通して令和元年度に販売されたクリーンエネルギーの環境効果はCO₂排出量で4,182tの削減になります。これはビッグスワンの面積129個分の森林が1年間に吸収するCO₂の量に相当します。



新潟市は「ゼロカーボンシティ」の実現を目指します

新潟市は、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを表明しました。また、持続可能なエネルギーの推進や気候変動の影響への適応などを誓約し、パリ協定の目標達成に貢献する「世界首長誓約」に新潟県内の自治体で初めて署名しました。

ゼロカーボンシティの実現に向け、今後も新潟スワンエナジーによる再生可能エネルギーの地産地消など、地域の事業者、団体、市民の皆さまと共に、温室効果ガスの削減に取り組んでいきます。



「世界首長誓約」に署名した中原市長

問い合わせ | 環境政策課 ☎025-226-1365 / (発電のしくみについては) 循環社会推進課 ☎025-226-1431

※クイズは今回お休みします。